# 神秘学ポエジー 風遊戯 photopos 121

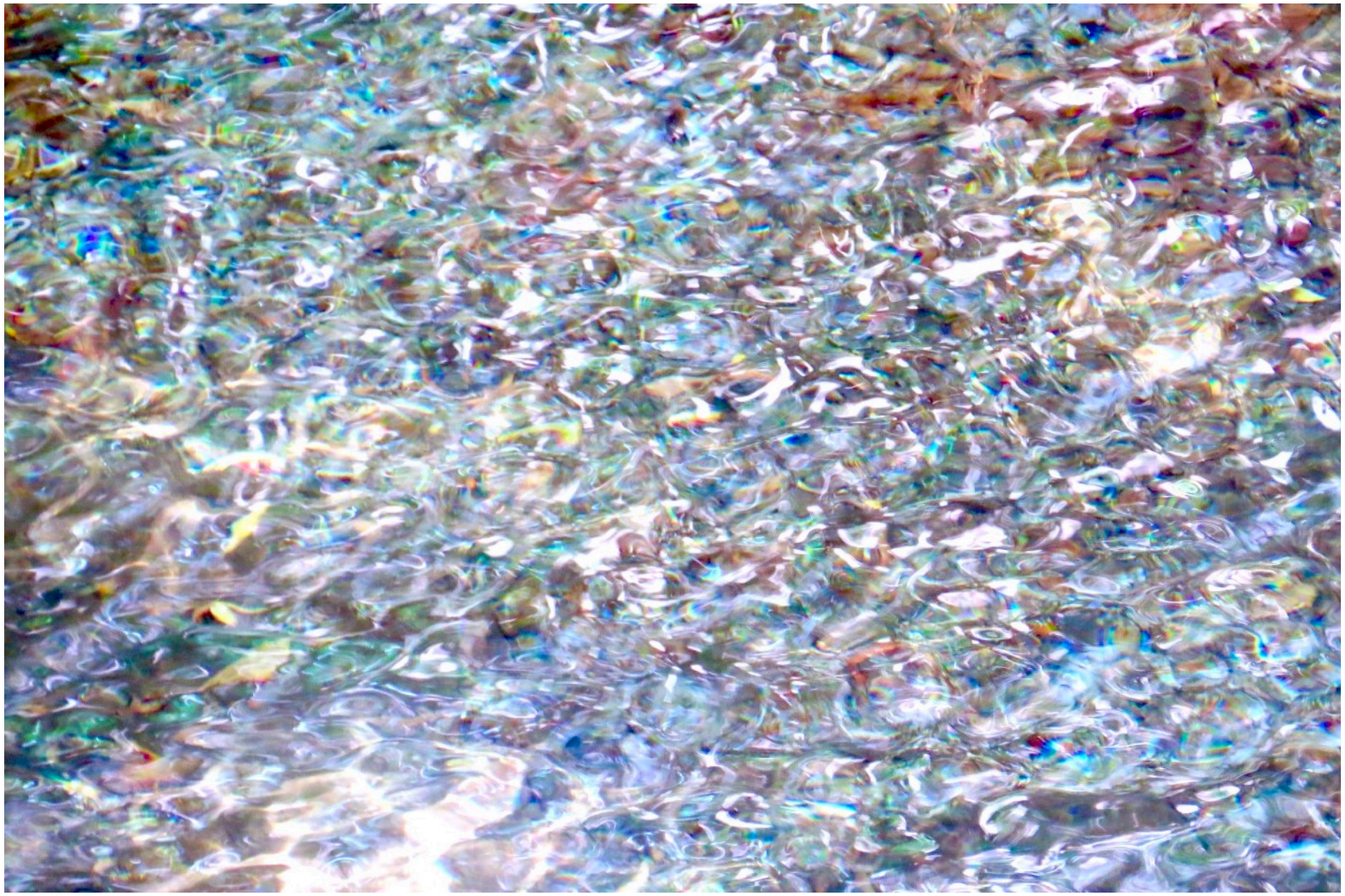
【神秘学ポエジー〜風遊戯 第 242集】 photo ヴァージョン

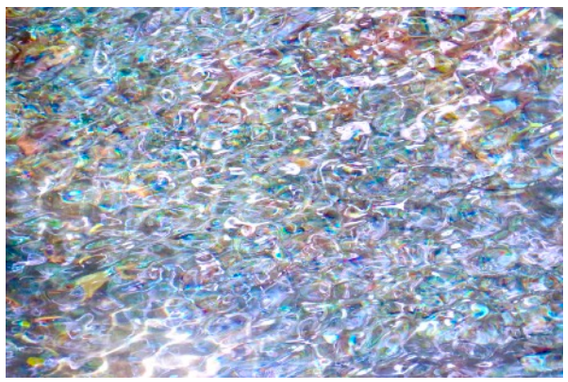
photopos 3001-3025

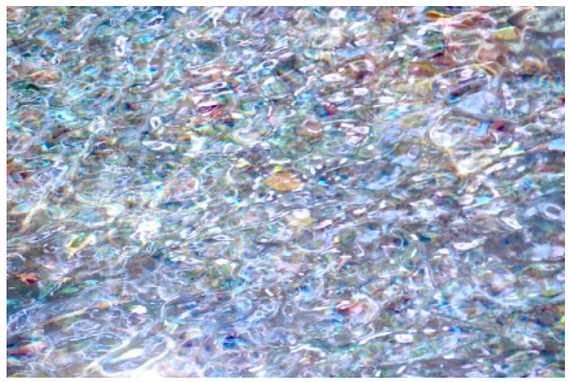
《2022.11.26〜 2022.12.20》

神秘学遊戯団

☆photopos-3001　　2022.11.26







※愛媛県北宇和郡松野町「滑床渓谷」にて

いつのまにか
わたしは
わたしの顔をして
ここにいて
いつのまにか
ことばを話している

謎じゃないか

いつのまにか
せかいは
せかいの顔をして
ここにあって
いつのまにかわたしは
せかいのなかで生きている

不思議じゃないか

いつのまにか
時は流れ
いつのまにか
わたしは
せかいから
去ってゆくだろう

無常じゃないか

いつのまにか
わたしはまた
わたしの顔をして
どこかで
うたっていることだろう

ずいぶんとお気楽じゃないか

☆photopos-3002　　2022.11.27

※愛媛県北宇和郡松野町「滑床渓谷」にて

たましいの
ふるえるとき

たましいには
羽ができるから

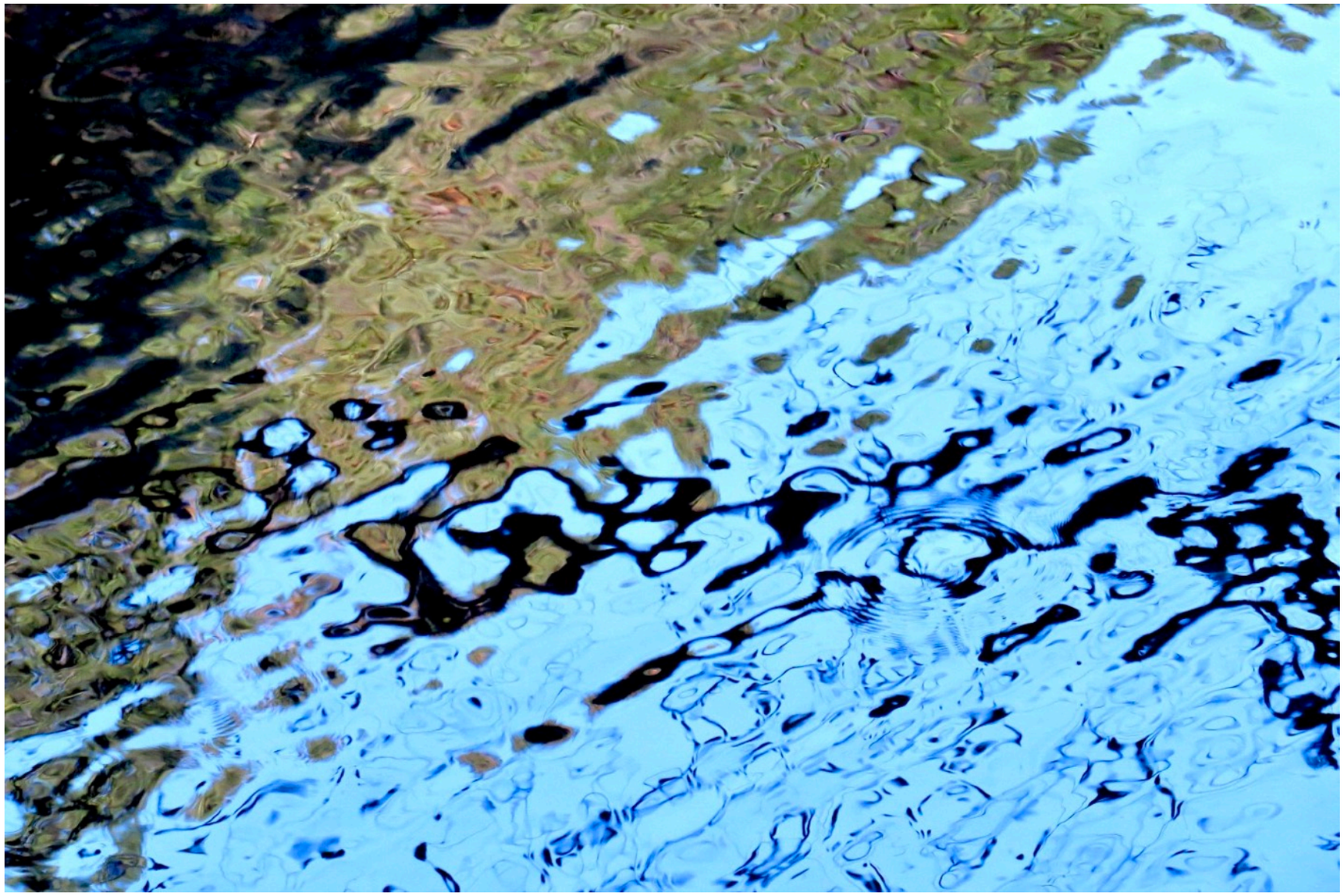
わたしは
わたしから
外へでて
あなたに会いにゆく

わたしは
あなたには
なれないけれど

わたしと
あなたとの
あいだにいて

たましいの羽を
ふるふる
ふるふる
ふるわせる

☆photopos-3003　　2022.11.28



心の帰ってゆく
場所がみつからないから
わたしは
歌に心を投げいれる

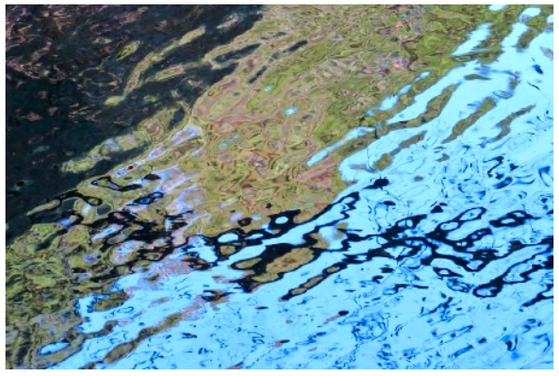
だれかのつくった
歌だけど
それをじぶんの歌にする

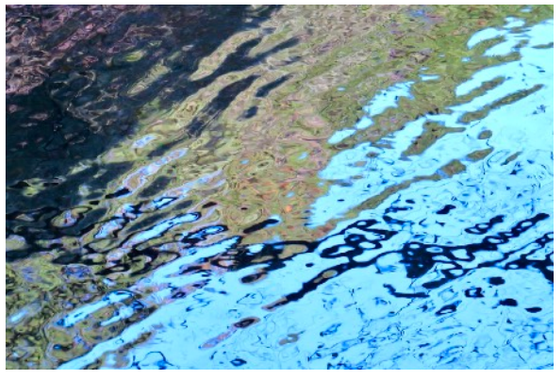
じぶんのほんとうの歌は
みつからないまま
どこにもない場所をさまよいながら

心のかたちが
どうしてもみえないから
わたしは
物語に心を語らせてみる

だれかのつくった
物語だけど
それをじぶんの物語にする

じぶんのほんとうの物語は
みつからないまま
いまだかたちにならない心を携えながら





※愛媛県北宇和郡松野町「滑床渓谷」にて

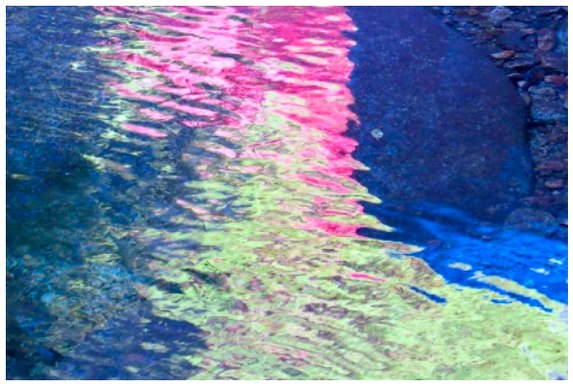
☆photopos-3004　　2022.11.29

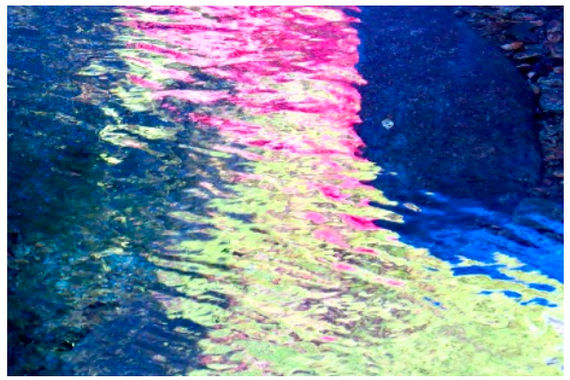
信じることで
救われるとき
信じるという物語ははじまる
信じられなくなるまでの

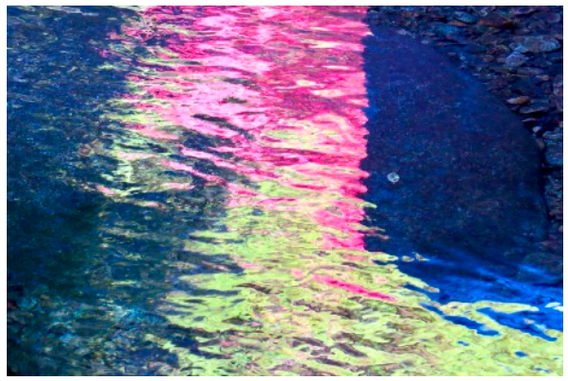
信じないことで
救われるとき
信じないという物語ははじまる
信じることができるまでの

信じていたのに
裏切られたというとき
それまで生きていた物語は途絶える
あらたな物語は生きられるだろうか

信じていなかったのに
信じられることがわかったとき
それまで生きていた物語は変わる
その物語の続くときまで

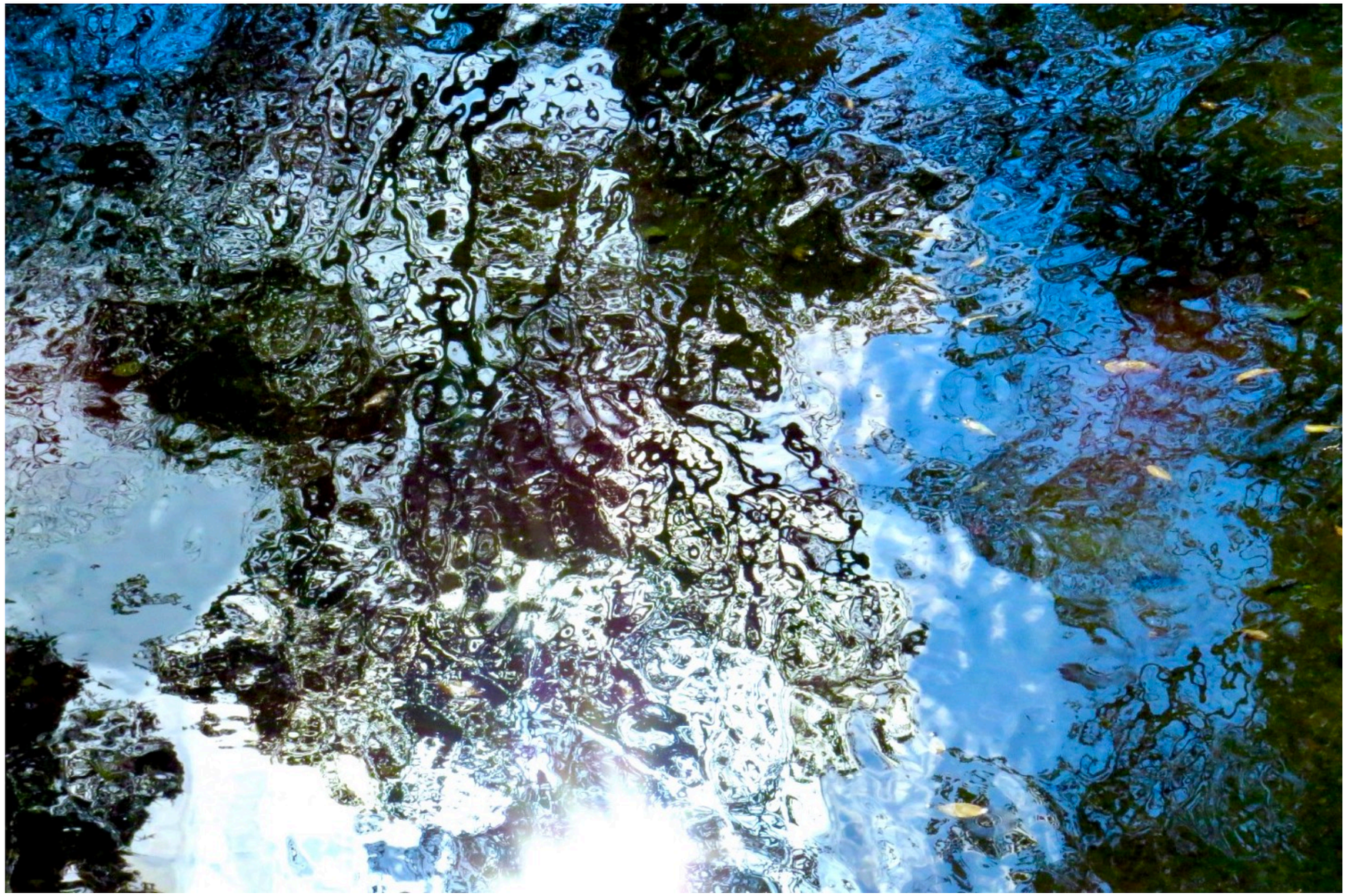






※愛媛県北宇和郡松野町「滑床渓谷」にて

☆photopos-3005　　2022.11.30



わたしたちは
言葉の乗り物だ

言葉は
わたしたちを使って
世界をつくりあげる

言葉を覚えることは
世界をつくることだ

わたしたちは
言葉なしでは
世界を生きられない

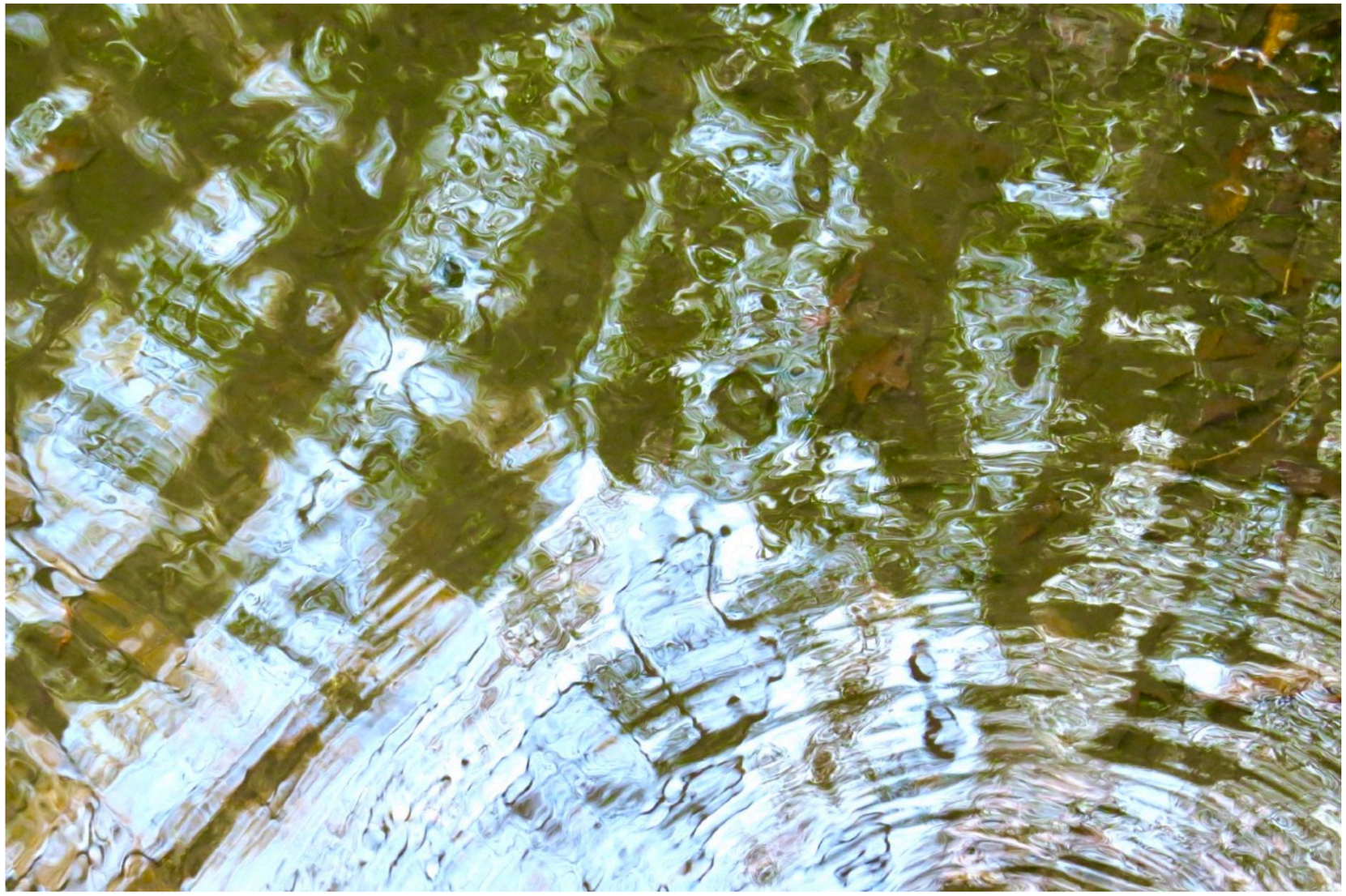
言葉を覚えると
もう言葉のない世界に
還ることはできなくなる

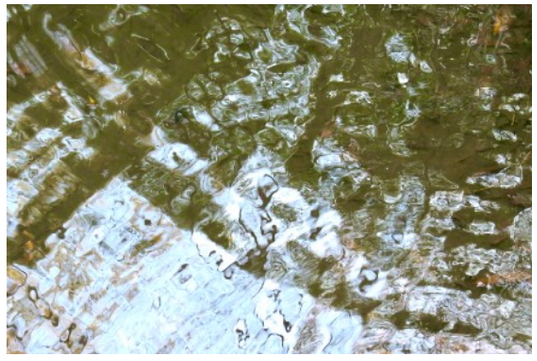
言葉から自由になるためには
世界を解消しなければならないから

言葉をすべて
忘れてしまったとき
世界はどんな姿をしているのだろう

※愛媛県内子町・小田深山渓谷にて

☆photopos-3006　　2022.12.1





※高知県高知市・牧野植物園にて

わたしのなかには
生まれてから
いままでの
すべてのわたしが
生きているから

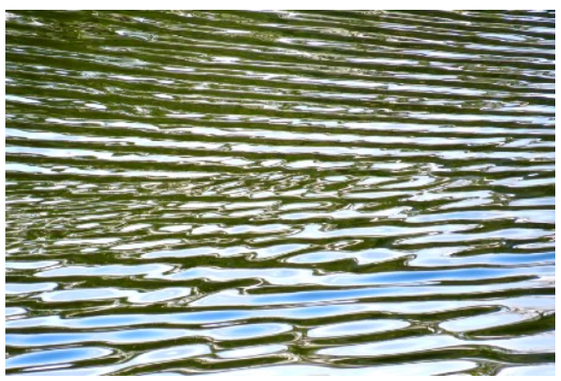
わたしは
子どもでも
おとなでもない
無数のわたしとして
今を同時に生きている

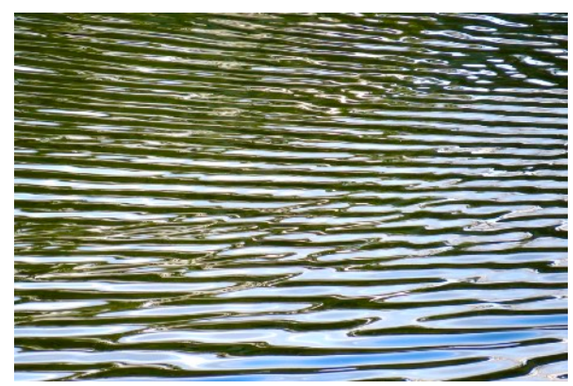
わたしのなかには
生まれるまえも
死を迎えたあとも
すべてのわたしが
生きているから

わたしは
わたしであって
わたしではない
無数のわたしとして
今を同時に生きている

時空を超えて旅する
わたしという魂に
みずからを
永遠へと導く光が
見つかりますように

☆photopos-3007　　2022.12.2





※愛媛県総合運動公園にて

闇のなかにいるとき
闇の外は見えないから
わたしはじぶんのなかに
光を見つけようとする

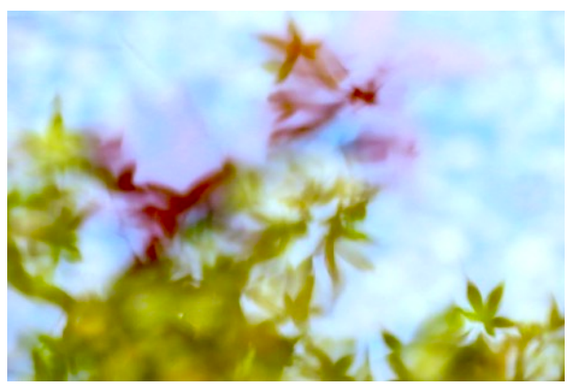
光のなかにいるとき
光の外は見えないから
わたしはじぶんのなかの
闇を見つめようとする

言葉のなかにいるとき
言葉の外は見えないから
わたしは言葉にならないリアルへと
じぶんをひらこうとする

世界のなかにいるとき
世界の外は見えないから
わたしは世界の矛盾を召還し
生きてみようとする

わたしのなかにいるとき
わたしの外は見えないから
わたしではなくなってしまうわたしに
じぶんを委ねようとする

☆photopos-3008　　2022.12.3



※高知県高知市・牧野植物園にて

われらはみな
思い出に
生きているのか

知らない
未来さえ
すでに
なつかしい

あの思い出たちは
いったいどこから
くるのだろう

ここは
すでに
彼方にあり
彼方は
すでに
ここにあり

知らないことさえ
なつかしく
記憶のなかを
思い出は
はるかにめぐり

永遠はいつも
なつかしく
不意に
訪れてくる

☆photopos-3009　　2022.12.4

※愛媛県北宇和郡松野町・滑床渓谷にて

強くあることは
ひとに対する強さではなく
じぶんに対する強さである

強さは
粗雑さと反対のものだ

その強さは
やさしく寄り添える
繊細な強さである

けれど
やさしさを
じぶんへのやさしさへと
向けるばかりになるとき
強さは粗野なものとなり
寄り添える強さは失われてしまう

変わることをおそれない
そんな強さがあるとき
ひとはやさしくなれる

やさしくなるために
強くなれるとき
ひとは寄り添うことができる

☆photopos-3010　　2022.12.5

※愛媛県久万高原町・面河渓にて

ひとり遊ぶことは
楽しからずや

ひとりでいられるがゆえに
ふたりでいられる
また楽しからずや

群れることは
苦しからずや

群れるがゆえに
ともに流されてゆく
また苦しからずや

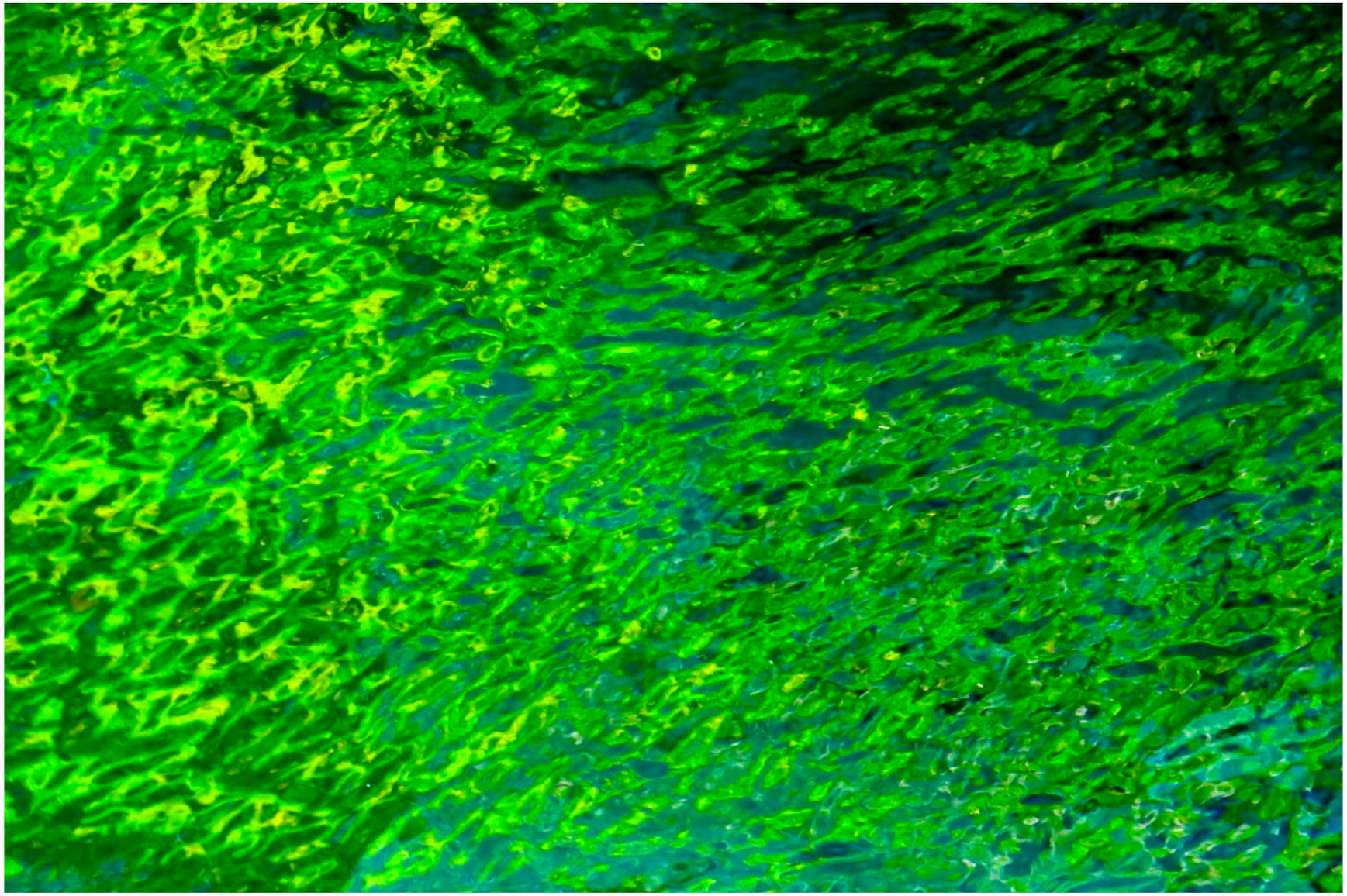
いつもはじめてなのは
楽しからずや

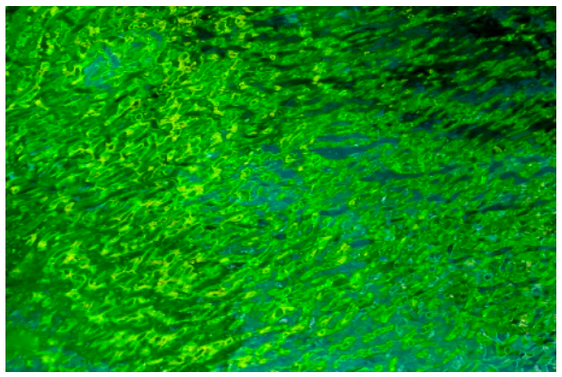
いつもはじめてゆえに
遊ぶひとでいられる
また楽しからずや

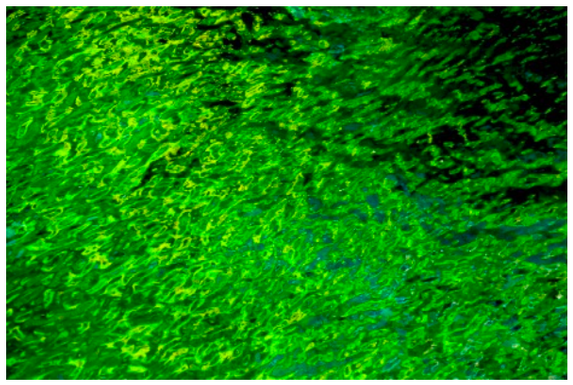
そういうものだは
苦しからずや

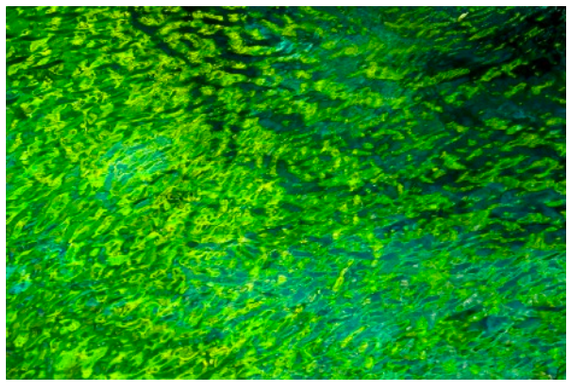
そういうものであるがゆえに
問いも希望ももてなくなる
また苦しからずや

☆photopos-3011　　2022.12.6









※愛媛県久万高原町・面河渓にて

わたしが
そこにいないとき

美しいは
そこに
おのずと訪れている

わたしが
わたしとして
美しいを探すとき

美しいは
そこに
問い続けられる
謎として現れる

わたしが
美しいの謎に
みずからの魂で
応えるとき

美しいは
そこに
世界の創造
そのものとして
現れはじめる

☆photopos-3012　　2022.12.7

※愛媛県内子町・小田深山渓谷にて

できないと
できるの
あいだには
なにがあるのか

できるようになったとき
できなかったことは
もうそこにはない

できないと
できるの
あいだで
わたしは
なにをしたのだろう

できるようになる
というふしぎ

わからないと
わかるの
あいだには
なにがあるのか

わかるようになったとき
わからなかったことは
もうそこにはない

わかるようになるために
そこでなにがうまれたのか

わからないと
わかるの
あいだで
わたしは
なにをしたのだろう

わかるようになる
というふしぎ

☆photopos-3013　　2022.12.8

※愛媛県内子町・小田深山渓谷にて

わたしは
わたしのなかに
ほんとうの言葉を召還する

召還するためには
わたしはみずからを
幾重にも幾重にも
重層化し続けなければならない

わたしは
わたしという
一なのに

わたしは
わたしのなかに
わたしという他者を生み
二となり三となり

わたしのなかに
わたしとわたしを
幾層にも積み重ね
それらの交わりのなかに
相応しい器をつくらねばならない

わたしのなかに
ほんとうの言葉を召還するために
そしてその言葉で
ほんとうのあなたに呼びかけるために

☆photopos-3014　　2022.12.9

※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

忘れることは
いいことだ

いつも
あたらしく
覚えられる

あたまのなかは
からっぽがいい

いつも
あたらしく
考えられる

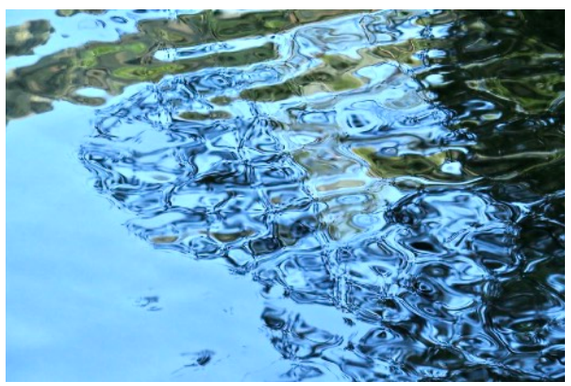
わたしたちは
すべてを忘れて
生まれてくる

せっかく
忘れたのだから
そのように
生きるのがいい

わたしはわたしで
別のわたしじゃないから
わたしはこのからだで
別のからだじゃないから

たとえ思い出したとしても
忘れたままのように生きて
そして死んでゆけますように

☆photopos-3015　　2022.12.10



※愛媛県久万高原町・面河渓にて

どこからが
じぶんで
どこからが
じぶんではないのか
よくはわからないけれど

そして
どこからが
自由で
どこからが
自由でないのかも
よくはわからないけれど

命じられたことをするのは
じぶんではないだろうし
ひとに命じてさせるのも
それもまたじぶんではないはずだ

じぶんがじぶんであるならば
それでいいはずなのに

どうしてひとは
上をつくり
下をつくるのだろう

どうしてひとは
上をあがめ
下を蔑むのだろう

ひとはじぶんを
じぶんのままにしておけないために
力や名やお金に
じぶんの証を求めることを
生きることだと思っているらしい

☆photopos-3016　　2022.12.11

※愛媛県久万高原町・古岩屋にて

見渡すかぎり
ことばの曠野が広がっている

残っているものといえば
記号化された死骸
カテゴライズされた囚人
巧妙に飾りたてられた嘘
呪詛のように吐き散らされた毒

それらがことばの顔をして
ゾンビのように蠢いている

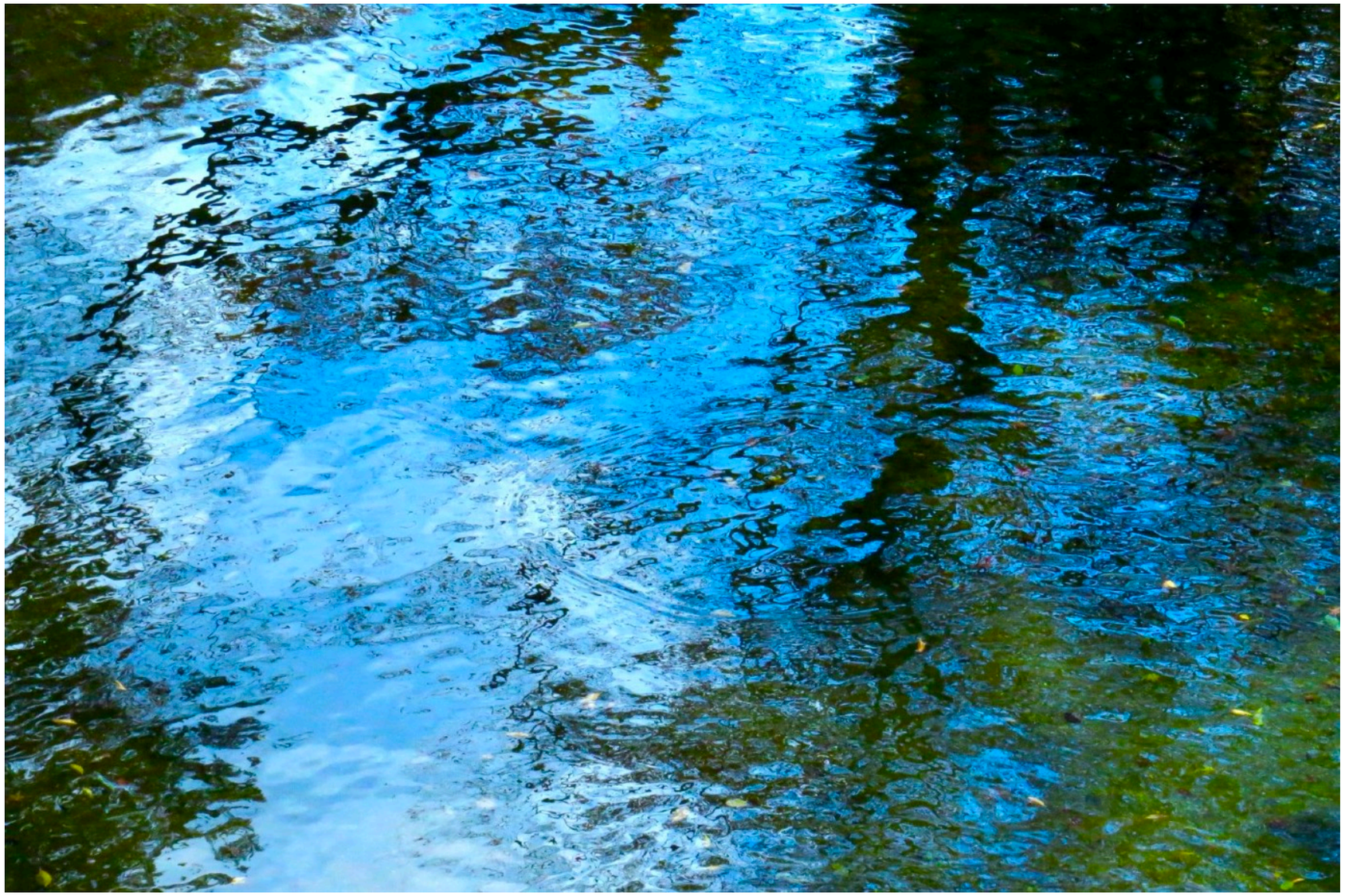
世界はことばで
創られたはずなのに
ことばとなって生まれてきた
そんな光さえいたはずなのに

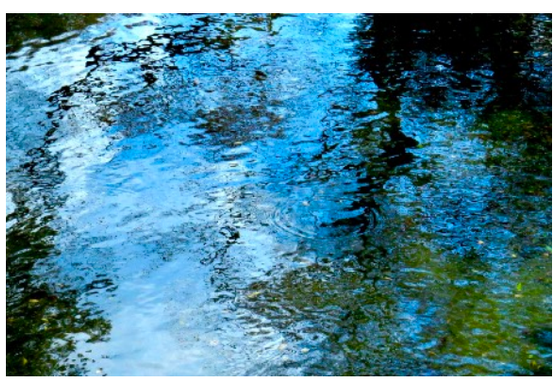
ことばはどこへ
行こうとしているのだろう
かつて蒔かれていたはずの種さえ
いまはほとんどみあたらない

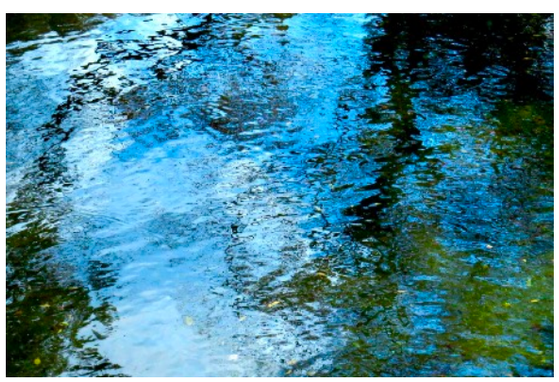
ことばはかつて
死したのちに
復活したという

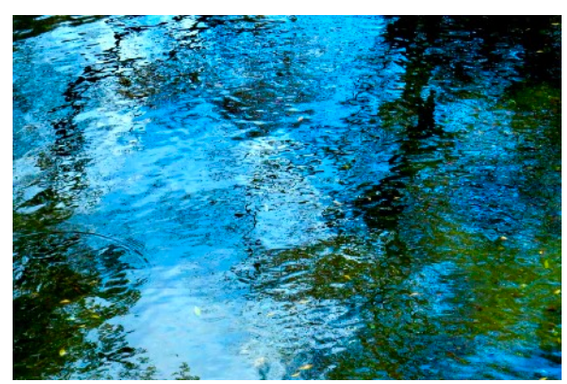
わたしの瀕死のことばも
やがて死したのちに
復活するときがくるのだろうか

☆photopos-3017　　2022.12.12









わたしは
鏡の迷宮にいる
夢を見る

わたしは
じぶんの顔を
見ようとするのだが
決して見ることはできない
それはいつも映された顔

映された
わたしの顔は
仮面である

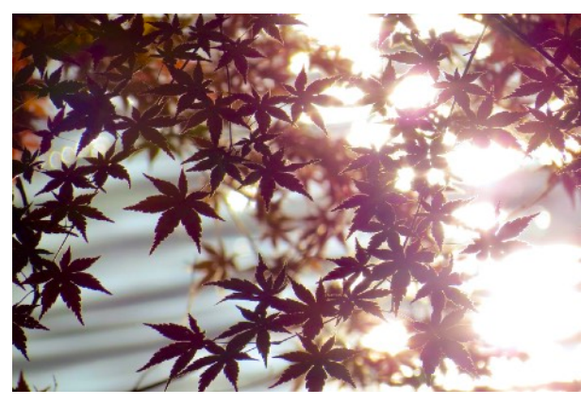
外しても外しても
どこまでも
ほんとうの顔が
あらわれない仮面

わたしは
映されたわたしの
無限なかで
じぶんを見失う

夢を見ている
このわたしは
だれかの見ている
夢なのかもしれない

※愛媛県内子町・小田深山渓谷にて

☆photopos-3018　　2022.12.13



※愛媛県総合運動公園にて

戒が求められなくなるとき
はじめて愛することができる

教えられるものから自由になるとき
考えることができる

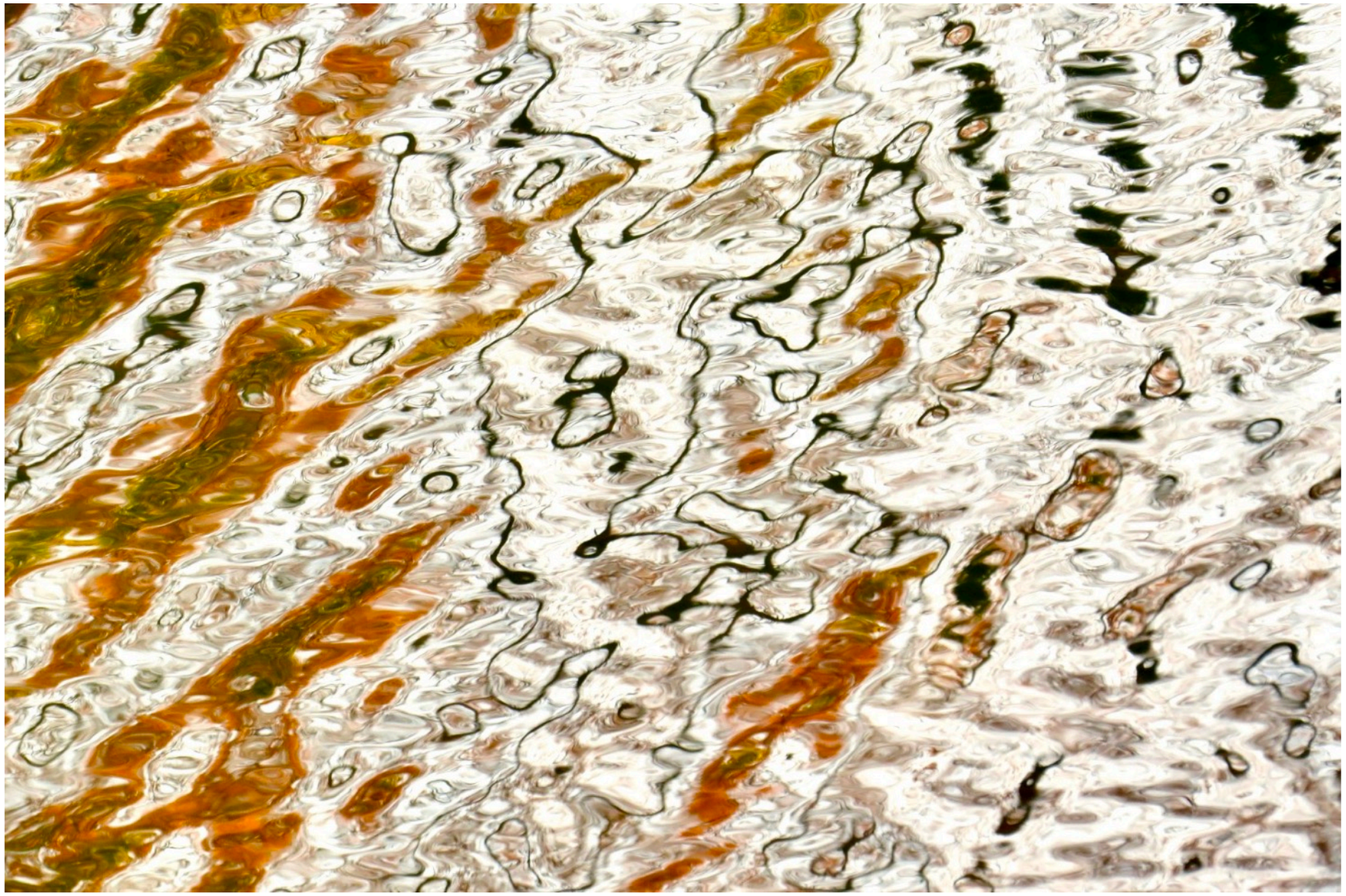
じぶんに教えることができるとき
はじめて学ぶことができる

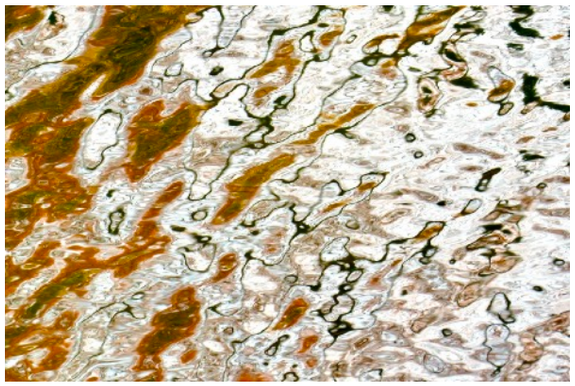
ひとりでいられるとき
はじめてつながることができる

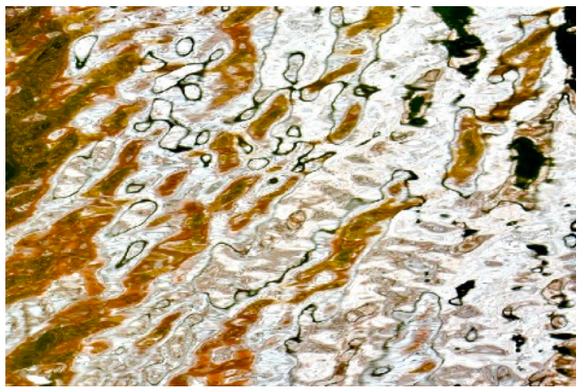
聴くことができるとき
はじめて話すことができる

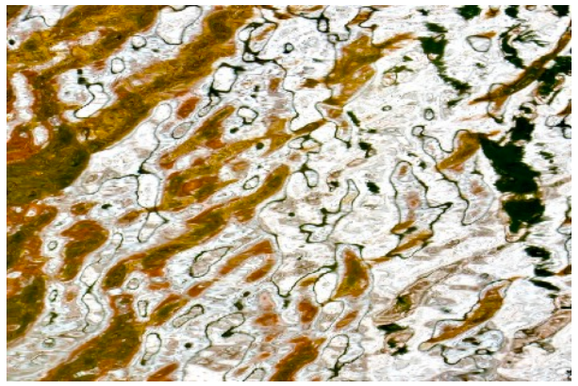
沈黙することができるとき
はじめてうたうことができる

☆photopos-3019　　2022.12.14









※愛媛県総合運動公園にて

笑いの神さまは
はひふへほ
のなかに
住んでるらしい

ははは
あははは

はの神さまは
ゴキゲンで

ひひひ
いひひひ

ひの神さまは
ちょっとキモい

ふふふ
うふふふ

ふの神さまは
フェミニンで

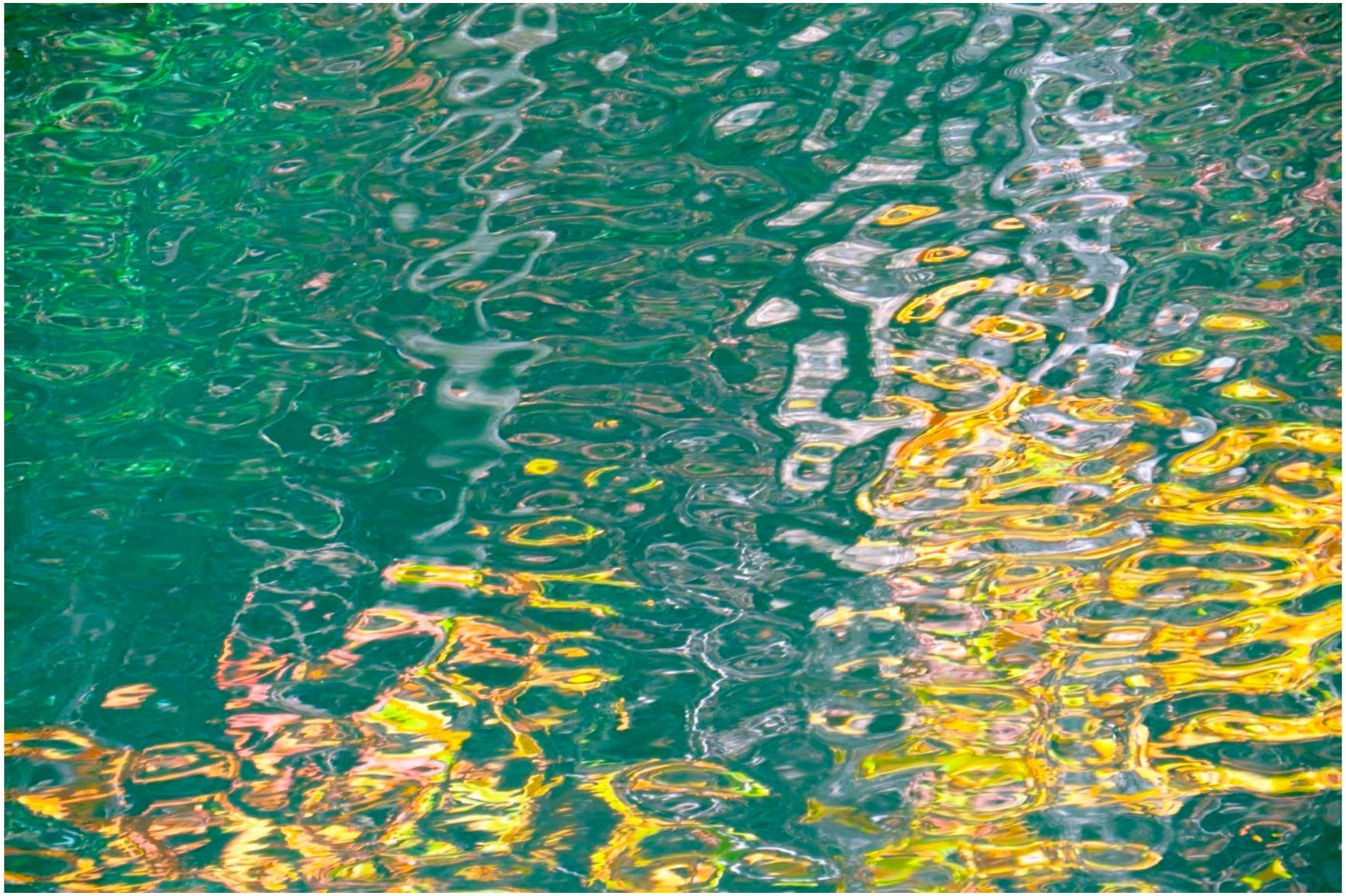
へへへ
えへへへ

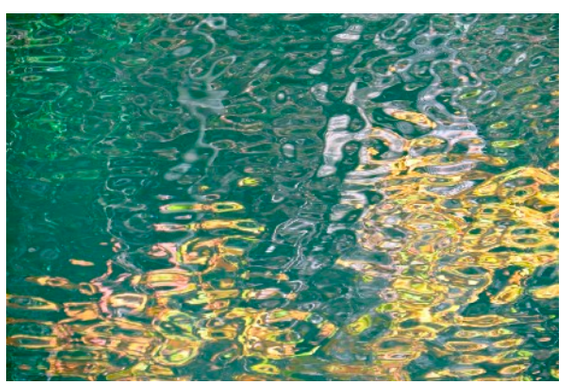
への神さまは
照れくさがり屋

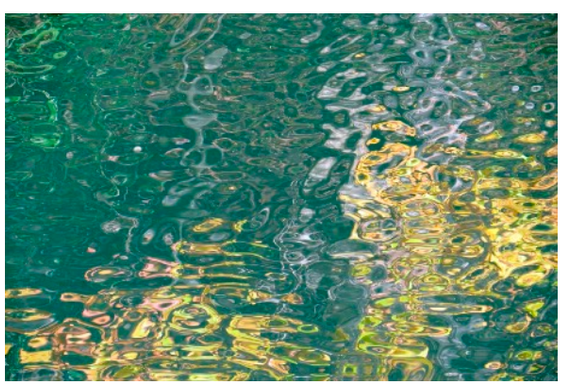
ほほほ
おほほほ

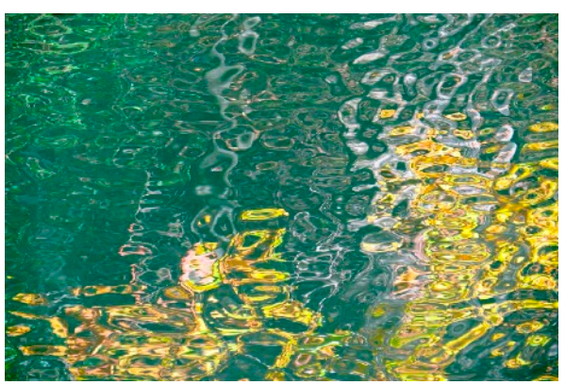
ほの神さまは
上から目線のおじょうさま

☆photopos-3020　　2022.12.15









※愛媛県総合運動公園にて

なにが
善いやら
悪いやら

悪と知らずに
犯す悪
道の果てには
なにが待つ
悪は悪とて
なんになる

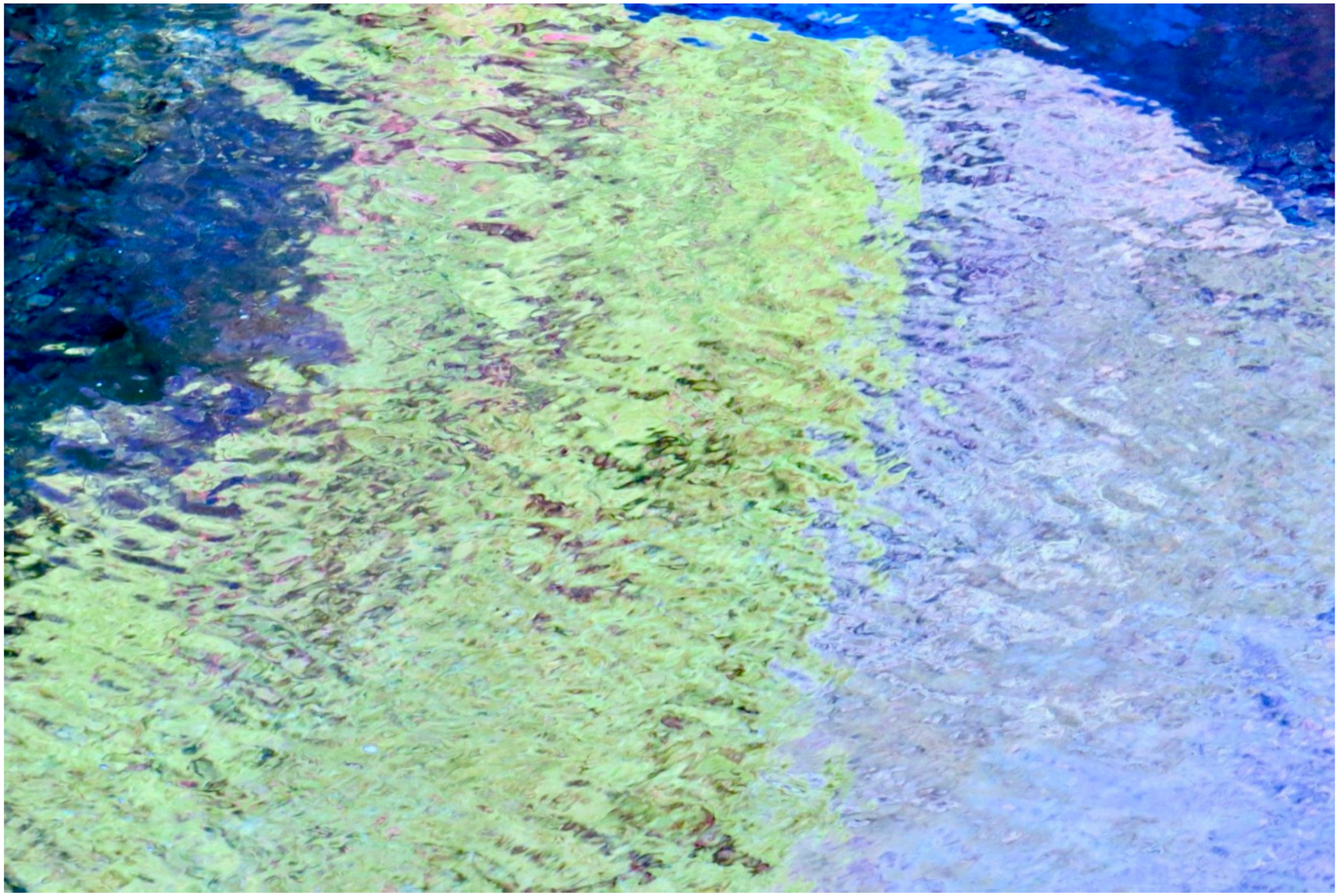
悪と知りつつ
犯す悪
道の果てには
なにが待つ
悪は悔いられ
なんになる

善と知らずに
為す善の
道の果てには
なにが待つ
善は善とて
なんになる

善と信じて
為す善の
道の果てには
なにが待つ
善はその後
なんになる

なにが
善いやら
悪いやら
知らず
知りつつ
世を生きる

☆photopos-3021　　2022.12.16



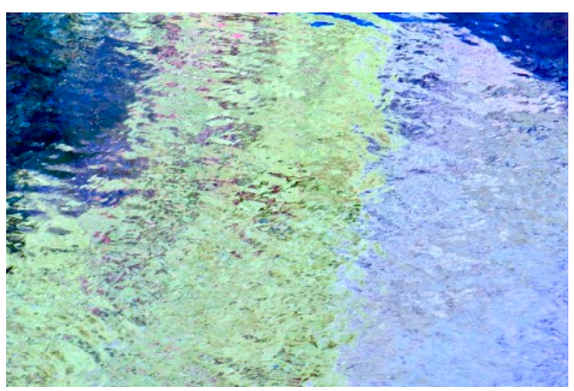
風に樹に
人の言葉に

見えないけれど
ふれてくる気配に

不意に
こみあげる
かたじけなさ

たましいの
深みより
呼び覚まされるのか

胸の奥
そのまた奥の
水源より
湧きいずる祈り



※愛媛県北宇和郡松野町「滑床渓谷」にて

☆photopos-3022　　2022.12.17

※愛媛県久万高原町・面河渓にて

森の生き物たちが
地下でつながっているように

わたしたちは
地下でつながり
生かしあっているのに

たがいの見えない姿を知らずに
競いあったり
傷つけあったりする

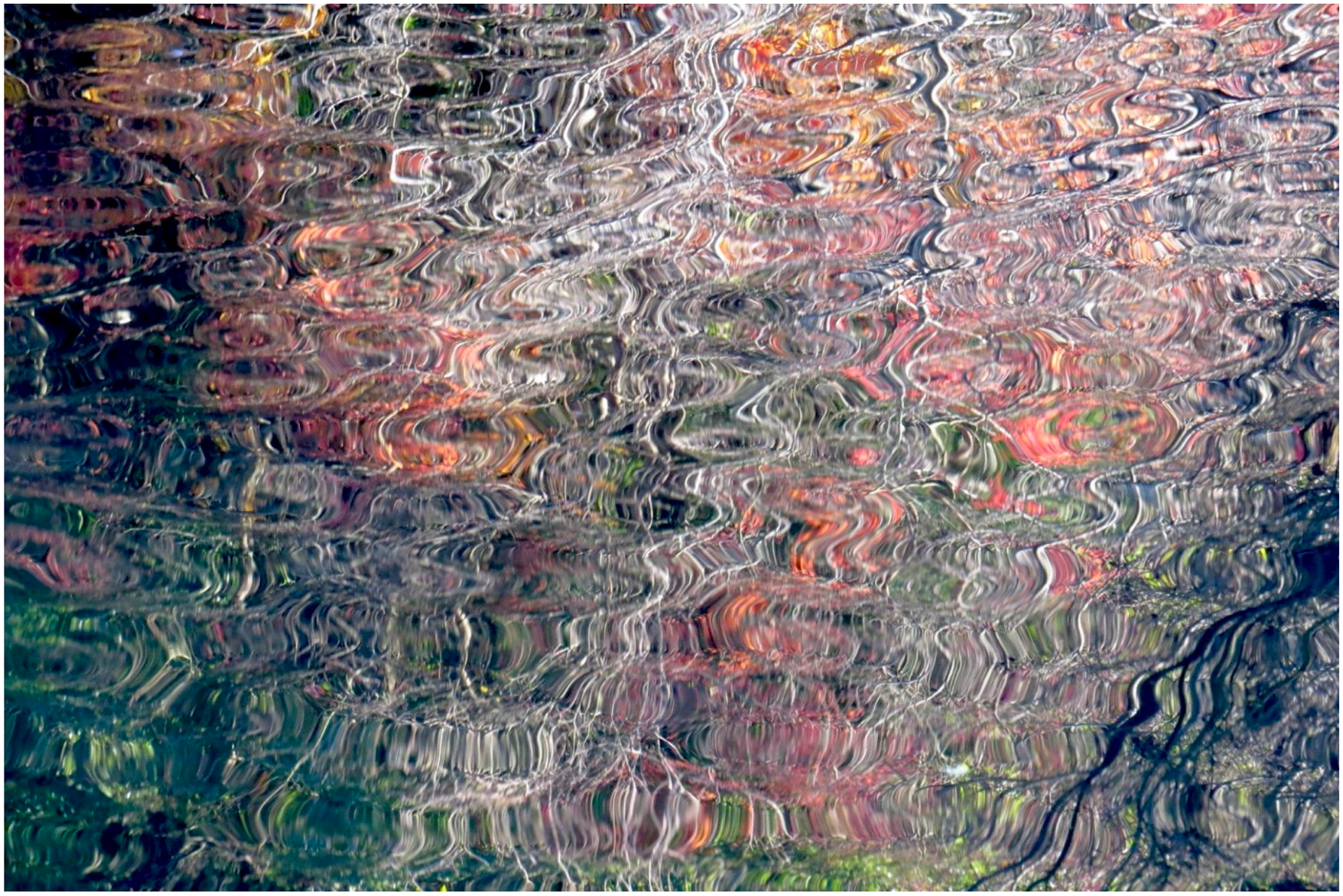
わたしには
からだだけではなく
たくさんのからだがあるのに

見えない姿を知らずに
心を病んだり
死を恐れたりする

時間は
水平に流れるだけではなく
垂直に広がりもするのに

永遠の時間に気づかずに
過去を悔やんだり
未来を恐れたりする

☆photopos-3023　　2022.12.18



※愛媛県総合運動公園にて

だれかであることを
やめたくなったとき

わたしは
もとの名なき
わたしになる

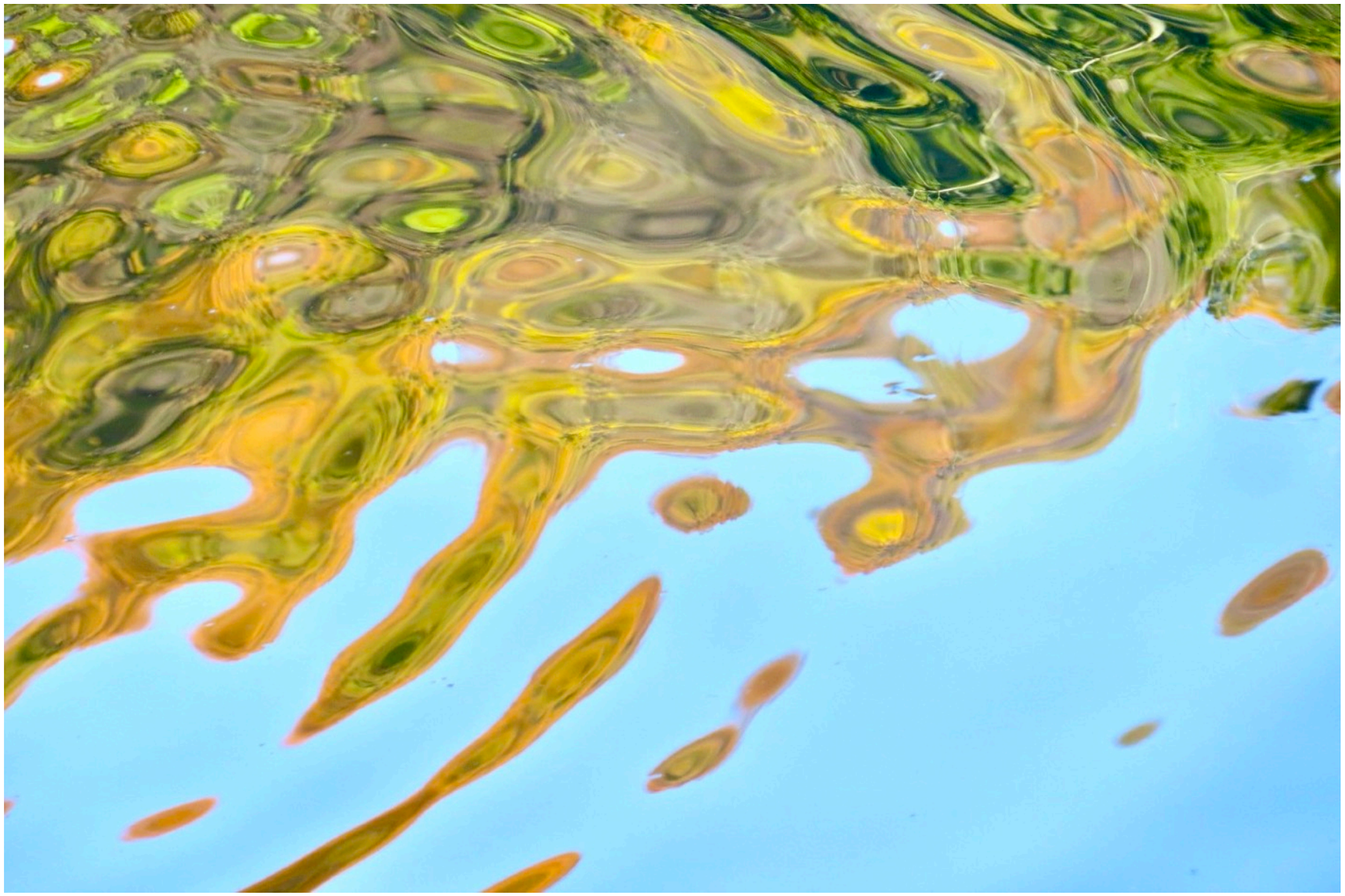
もともと
わたしは
名なき
だれでもない
わたしだった

名があったとしても
名は変わってゆく
そしてわたしは
わたしの知らない
わたしになる

わたしには
わたしの知らない
わたしがいて
わたしの顔をして
だれかになっている

だれでもないわたしから
だれでもないわたしへ
わたしの物語はどこまで続くのだろう

☆photopos-3024　　2022.12.19



知りたいことを
論理だけに閉じ込めたとき
その世界は
冷たい機械になる

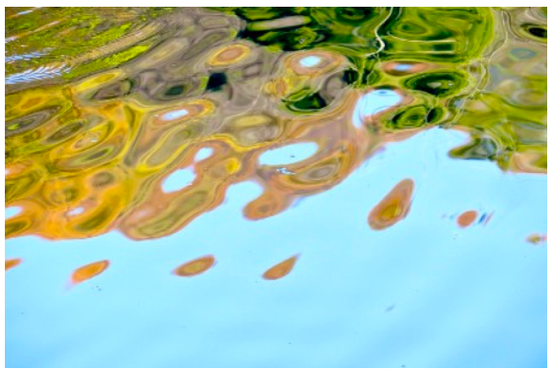
感じたいことを
情だけに閉じ込めたとき
その世界は
行方をなくした難破船になる

ほんとうのことばは
生きてはたらく
ことばとともにある

ひとであることは
知と情のはざまで
あえて矛盾を泳ぐことだ

水平と
垂直の時間を交叉させて
偶然を生きることだ

かぎりなき
ポエジーを夢見ながら



※愛媛県総合運動公園にて

☆photopos-3025　　2022.12.20

人間であるとは
人間であることを
問い続けることである

けれど天使は
天使であることを問わない
自動的な存在だ

みずからを問うとき
天使は堕天使となり
人間にむかい
堕ちたじぶんのように
みずからを問うようにと誘惑する

そして人間は
堕天使の誘惑のままに
人間であることを問い続け
その矛盾のなかで
矛盾ゆえにこそ

そこから自由の翼を得て
天使でも堕天使でもない
人間として
飛翔しようとする

※愛媛県総合運動公園にて